



7/28 令和8年度「北海道戦没者追悼式」に参列

北海道議会議員 **挑戦と成長**

しみず

清水たかひろ

道政報告



9/7 農政委員会:「米国産生馬鈴しょの輸入検疫」における様々な懸念を農政部に質す

NO.13
2026年
秋号

2026年度 一般会計総額 3兆2072億円!

北海道議会第3回定例会は、9月8日から10月2日までの日程で開催されました。一般会計では、政府の地域未来戦略などに対応する「北海道地域未来基金」の創設に関する条例案など28件の提出と併せて390億円余が追加計上され、本年度の一般会計総額は、3兆2072億円となりました。

私は、本定例会の予算特別委員会で、

- エキノコックス症、
 - スポーツ振興、
 - 地域未来基金及び副首都構想、
 - 消防行政における災害対応力の向上など、
- 4つの項目に大別して関係所管部にそれぞれの見解を質しました。また、本定例会では、初めて第1分科会の『副委員長職』(司会役)を担わせて頂きました。大変緊張しましたが、委員各位の特段のご配慮を賜り、何とか職務を全うすることができました。さらに、農政委員会発議となります『米国産馬鈴しょ生塊茎における輸入解禁協議に対する厳格な対応を求める意見書』の採択に向けて、各派理事の皆さまと協力して取り組みました。(裏面写真など参照ください)

引き続き、私は政治信条である【命を守る政策】を第一義に、本道の「食と農と環境」を守り抜く様々な取り組みに全力を尽くしてまいります。

朝晩の寒暖差が増し、本道の秀逸な農産物の「実りの秋」となるシーズンですが、季節の変わり目でもあります。皆さま、お身体には十分ご自愛ください。

第3回定例会の主な議題

副首都構想

首都圏での大規模災害に備え、本道が国土の強靱化や大規模災害時のバックアップ機能を担うことには意義があります。一方で、構想そのものを進めることが目的となるのではなく、道民生活の向上や地域の活性化にどうつなげるのか、具体的な議論が必要です。



IR(統合型リゾート)

外国人富裕層をターゲットとした経済効果を重視するのではなく、ギャンブル依存症、治安、交通、環境等、道民生活への影響を十分に見極める必要があります。

将来に禍根を残さないよう、慎重な議論を求めました。



JR「黄色線区」

鉄路は地域の通勤・通学、通院などを支える大切な交通基盤です。利用者や沿線自治体だけに負担を求めるのではなく、国とJR北海道、北海道が責任を持って 持続可能な 地域の足を守る仕組みをつくる必要があります。



これからも、「北海道の未来」と「道民の暮らし」を両立させる視点を大切に、**手稲区の皆さまの声を道政に** 届け政策反映させてまいります。



◆◆◆◆採択した意見書◆◆◆◆

米国産生バレイショ生塊茎の輸入解禁
要請に対する厳格な対応を求める意見書

本道の馬鈴しょは、全国の種馬鈴しょ生産の96%を担い、我が国の食料安全保障を支える重要作物です。

消費者にとって、安い馬鈴しょが手に入ることは歓迎されることです。しかし、北海道の畑に病害虫が侵入し、生産ができなくなれば、安いどころか、国内で馬鈴しょを作れなくなるおそれがあります。また、海外からの輸入に頼りすぎれば、国際情勢や為替、輸出国の事情によって、必要な時に食料を確保できなくなる危険もあります。

目先の価格だけでなく、将来にわたって北海道で馬鈴しょを生産し、安定して食卓に届けられる環境を守ること。それが食料安全保障のためにも重要だと考えます。

月経随伴症状に係る児童生徒への
配慮を求める意見書

月経困難症や月経前症候群(PMS)は、腹痛や頭痛、倦怠感、精神的不調などにより、学校生活や学業に大きな影響を及ぼす場合があります。しかし、症状が重く登校できない場合でも、原則として欠席扱いとなり、特に高校生は進級や単位認定、推薦・入試などで不利益につながる可能性があります。

そこで、月経随伴症状によるやむを得ない欠席について、通常の欠席とは異なる取扱いを含め、国が全国共通の基準を示すことを求めました。また、進級、単位認定、調査書、推薦、入学選抜などで不利益を受けることのないよう、学校現場での統一的な対応を求める意見書を提出しました。

写真で見るこれまでの道政活動



インターン生と手稲区内の施設訪問
及び意見交換(第1回)



道議会「予算特別委員会」：消防行政と
地域防災力の向上を質す(総務部)



手稲消防団・中央分団：「ふれあい防災
イベント」に団員として参加



道議会「予算特別委員会」：副委員長
として司会役を担う(総合政策部)



道議会「予算特別委員会」：副委員長
として司会役を担う(保健福祉部)



インターン生と手稲区内の施設訪問
及び意見交換(第2回)



道議会「予算特別委員会」：エキノコックス
症の課題を質す(保健福祉部)



道議会「予算特別委員会」：副首都構想を
質す(総合政策部所管)

しみず たか ひろ
清水敬弘プロフィール

- 1975年2月4日：オホーツク管内斜里郡清里町で農業を営む両親の長男として生まれる。高校卒業まで、夏は陸上競技、冬はスピードスケートを続け、心身を鍛える。
- 1996年：北海道立農業大学校を卒業後、1年間ドイツ(ヘッセン州ノイホフ)に農業留学。幅広い農業知識と国際的感覚を身につける。帰国後、就農する。

- 2008年：農業団体職員(北見市)
- 2018年：参議院議員 公設秘書(札幌市)
- 2023年：北海道議会議員 初当選
- 所属：(常任)農政委員会 理事
(特別委員会)産炭地域振興・
エネルギー調査委員会 理事
会派：民主・道民連合



皆さまのご意見、地域の課題をお寄せください。

清水 敬弘道政事務所

〒006-0022
札幌市手稲区手稲本町2条4丁目1-5 緑稜館
TEL:011-213-8888
FAX:011-213-8841
E-mail:info@shimizu-takahiro.net



日々の活動をSNSでも発信中です！



清水たかひろ
ホームページ



清水たかひろ
Facebook



清水たかひろ
Instagram